

令和6年度 森林環境譲与税に関する決算状況一覧								
事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入効果（総括）
			うち森林環境譲与税	うち基金取崩額	うち他の財源			
林道・林業専用道の整備等	林道管理事業	5,999	4,000		1,999	林道等の修繕	林業専用道（規格相当）1路線の整備、林道4路線の整備	林道及び林業専用道（規格相当）の整備により、利用区域内の森林整備時に作業員や出材車両の安全な走行が可能となった。
意向調査、集積計画等作成	森林経営管理事業	3,300	3,300			森林所有者の意向確認調査委託	被災森林を持つ森林所有者に対し、森林経営管理制度及び被災森林の復旧に対する意向について26件調査した。また、所有者探索を5件実施した。	森林経営管理制度による意向調査により森林所有者の意向を把握した。また、地震による被災森林所有者へ意識調査を実施することにより、所有森林の整備に関する考え方や思いを直接把握し、協定書締結が円滑に進み、計画的な森林再生の取り組みに寄与することが出来た。
その他（人材育成等）	林業振興一般管理事業	50	50			北海道林業・木材産業人材育成支援協議会負担金	協議会へ負担金支出	北海道立北の森づくり専門学院など林業界を支える人材の育成に貢献することができた。
その他（森林整備）	林業振興一般管理事業	300	300			スマート林業ＥＺＯモデル構築協議会負担金	協議会へ負担金支出	森林整備の効率化と労働安全性向上につながる先進技術導入の取組みに貢献することができた。
その他（木材利用・普及啓発関係）	森林再生・林業復興推進事業	192	192			新生児への木製の玩具の寄贈	厚真町の木であるキタコブシを使用した木製玩具３０個を制作	子どもが触れる最初の木製玩具を寄贈することで、木材を握る、噛むなどの機会を提供し木を感じる機会を創出した。
その他（森林整備）	環境保全林整備事業	15,263	15,041		222	・環境保全林の活用 ・散策路整備	森林の機能を持続可能なまま維持しながら、町民等が森林に気軽に親しむための活用区分の検討と利用の仕方を検討した 散策路の沿いの柵について設計と整備	・ゾーニングの考え方、森林管理方法の案を作成した。 また、具体的な活用方法を試行した。 ・今後の環境保全林の管理方法、管理主体について可能性を整理した。 ・風景に馴染む柵の設計と一部の設置を行ったことで、森に親しむ機会が創出された。